

(財)ヒューマンサイエンス振興財団について
《事務・事業説明資料》

法人概要

《基礎データ》

役員	【22年度】		【(参考)21年度】	
	常勤1人 非常勤33人	うち 国家公務員出身者	常勤1人 非常勤1人	常勤1人 非常勤5人
職員	常勤23人 非常勤0人 (このほか 派遣職員3人)	うち 国家公務員出身者	常勤1人 非常勤0人	常勤1人 非常勤0人
予算	20億円	うち 国からの財政支出	13億円	15億円

* 役職員数は平成22年4月1日現在、予算額は平成22年度の数値、うち国家公務員出身者についてはそれぞれの年度の4月1日現在、うち国からの財政支出についてはそれぞれの年度の数値

《主な事務・事業》

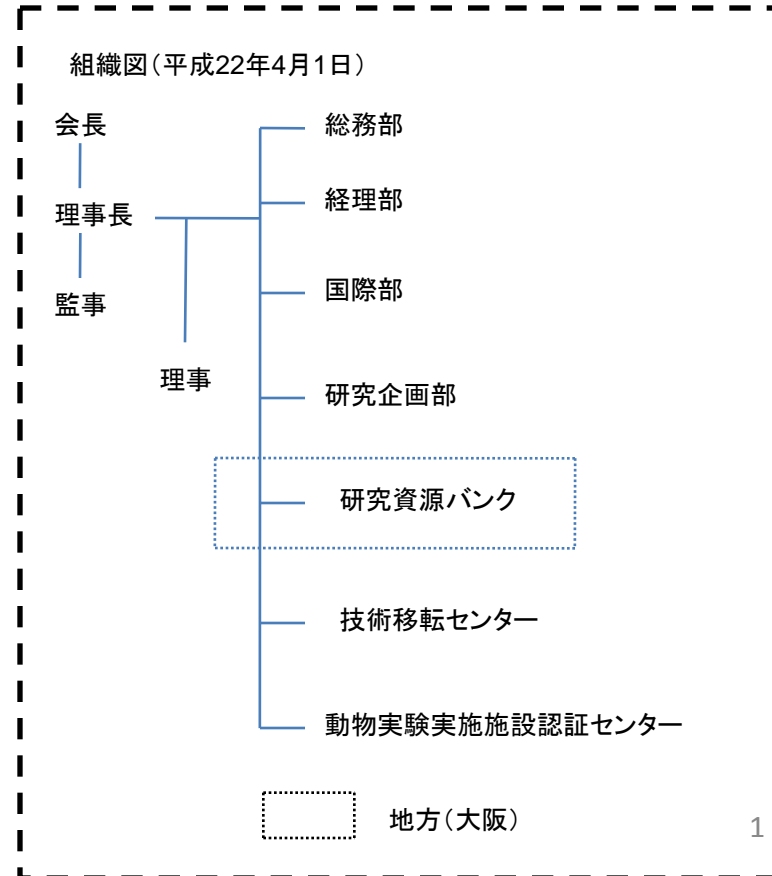
事務・事業	予算	うち国からの 財政支出
政策創薬総合研究・推進事業(補助事業)	13.3億円	10.3億円
ヒトゲノムテーラーメイド研究推進事業・再生医療実用化研究推進事業(補助事業)	2億円	2億円
認定TLO事業(補助事業)	0.7億円	0.3億円
研究資源供給事業	1億円	0
独自事業	3億円	0

《組織体制》

〔法人に占める
管理部門の割合〕

(全体) 21.7%

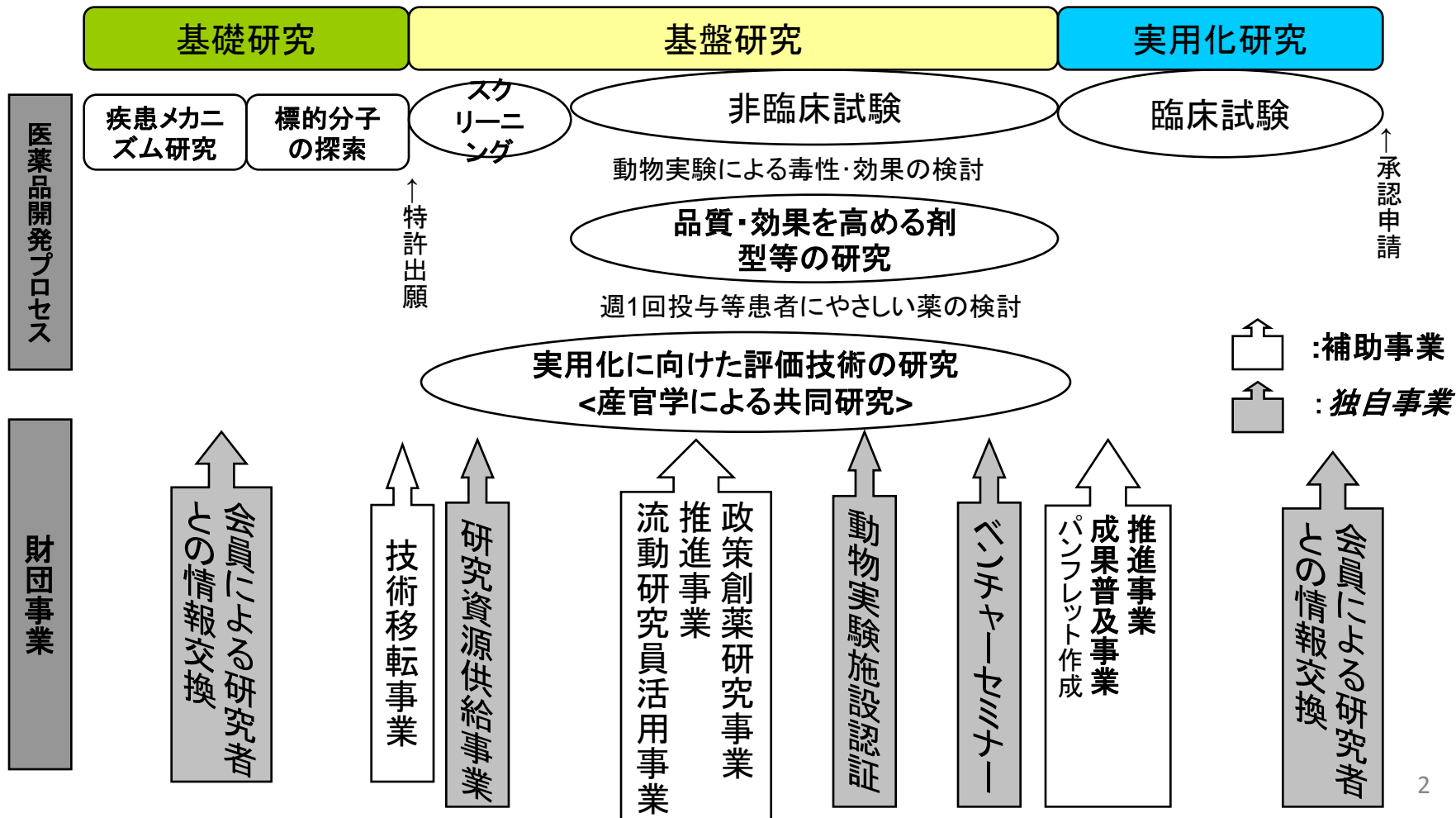
本部	6部 (16人)	うち管理部門 2部(5人)	31.2%
地方	1部(7人)	—	—



医薬品開発プロセスとヒューマンサイエンス振興財団の事業

医薬品開発の特性を熟知し、開発段階を踏まえた事業を展開

製品化の成功確率は2万分の1かつ薬事法に基づく承認が必要であり、約10年を要する。
1個の特許で製品が成り立ち、知財戦略が他の製品と異なる。



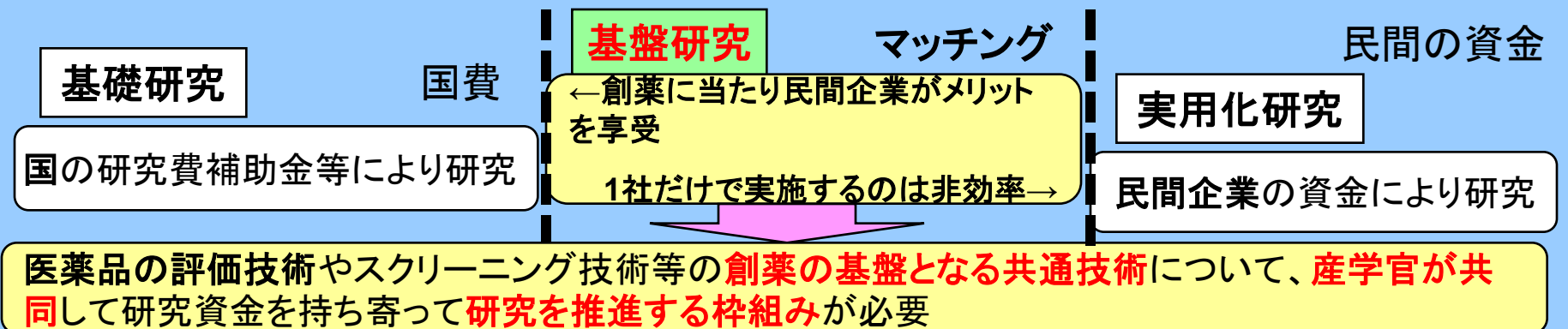
研究助成の概要①

事業の概要

(政策創薬総合研究事業補助金)

革新的医薬品等の開発の共通基盤となる技術に対し産学官が共同して取組む研究を支援

事業の必要性



財団が行う理由

- 会員の製薬企業等が参加し、民間ニーズをボトムアップし、企業戦略に即応した事業実施を担保
- 国、独法と違い医薬品開発に豊富な経験を有する会員企業からの出向職員を核として事業展開
- 厚労省研究機関の知財の権利化・技術移転を行うTLO事業、先端技術の調査事業によりマッチング情報を集積

事業の実績(例)

助成件数: 37件

助成総額: 810百万円(21年度) 内訳: 補助金482百万円 企業負担分328百万円 最大3年間

○DDS技術を利用した新規製剤の評価指標の研究

ナノ粒子製剤や超難溶性薬物を溶け易くする非晶化製剤等の性能評価をする指標の開発を行う研究

○ファーマコゲノミクスを応用した医薬品の評価系の開発研究

(代謝酵素に関する)ゲノム情報に基づき、「個の医療(投薬)」に最適化するための医薬品の有効性・安全性の違いの評価方法の研究

研究助成の概要②

事業の概要

(政策創薬研究推進事業)
(ヒトゲノムテーラーメイド研究推進事業補助金)
(再生医療実用化研究推進事業補助金)

若手研究者の育成及び研究者の海外派遣、海外の研究機関との共同研究、研究成果等普及啓発事業等を支援し、研究基盤の整備を図る。

事業の必要性

主任研究者だけでは研究の遂行が困難なものも少なくないため、主任研究者を補佐する流動研究員の派遣^{※1}、若手研究者の育成^{※2}、海外の研究機関との共同研究が必要な研究(日本では患者が少ない等)の実施^{※1}、研究成果を国民に発信する事業^{※1}等研究基盤の整備が必要

※1; 政策的に進めるべき創薬研究等国民から特に研究の推進が期待されている分野(政策創薬研究推進事業以下「創薬」と略)に限定して実施。

※2; 先端分野研究等国民から特に研究の推進が期待される分野(ヒトゲノムテーラーメイド研究推進事業以下「ヒトゲノム」と略)・再生医療実用化研究推進事業以下「再生」と略)等に限定して実施。

財団が行う理由

総合研究事業と連携した事業運営により、研究成果を高まること、また、推進事業実施の実績があり、公募、選定委員会の運営、研究者育成事業等が可能であること

事業の実績(21年度)

流動研究員派遣事業:主任研究者を補佐する流動研究員の派遣(創薬:34人)

若手研究者育成活用事業:我が国の当該分野の中核となる人材育成(ヒトゲノム:8人、再生4人)

国際共同研究等:海外の研究機関と共同研究(創薬:12課題)

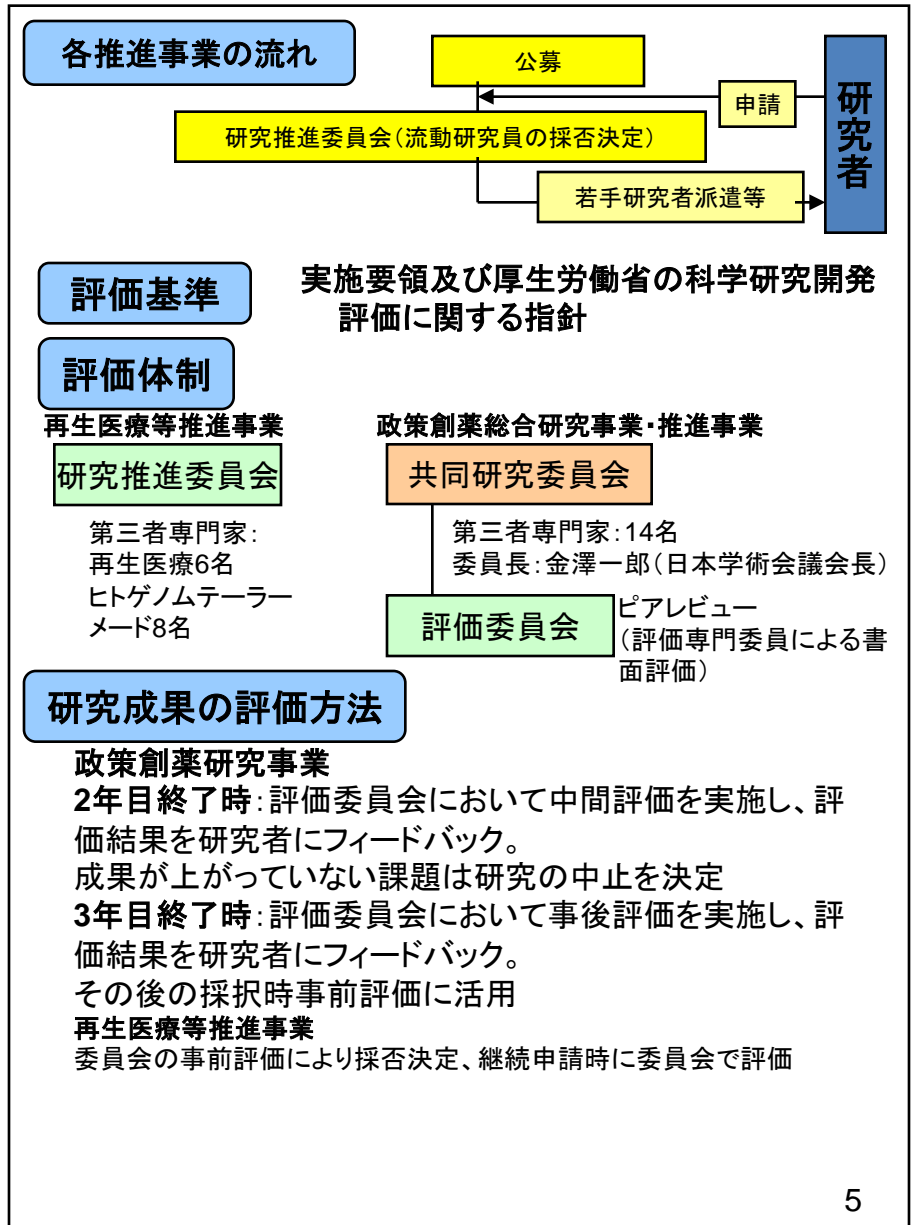
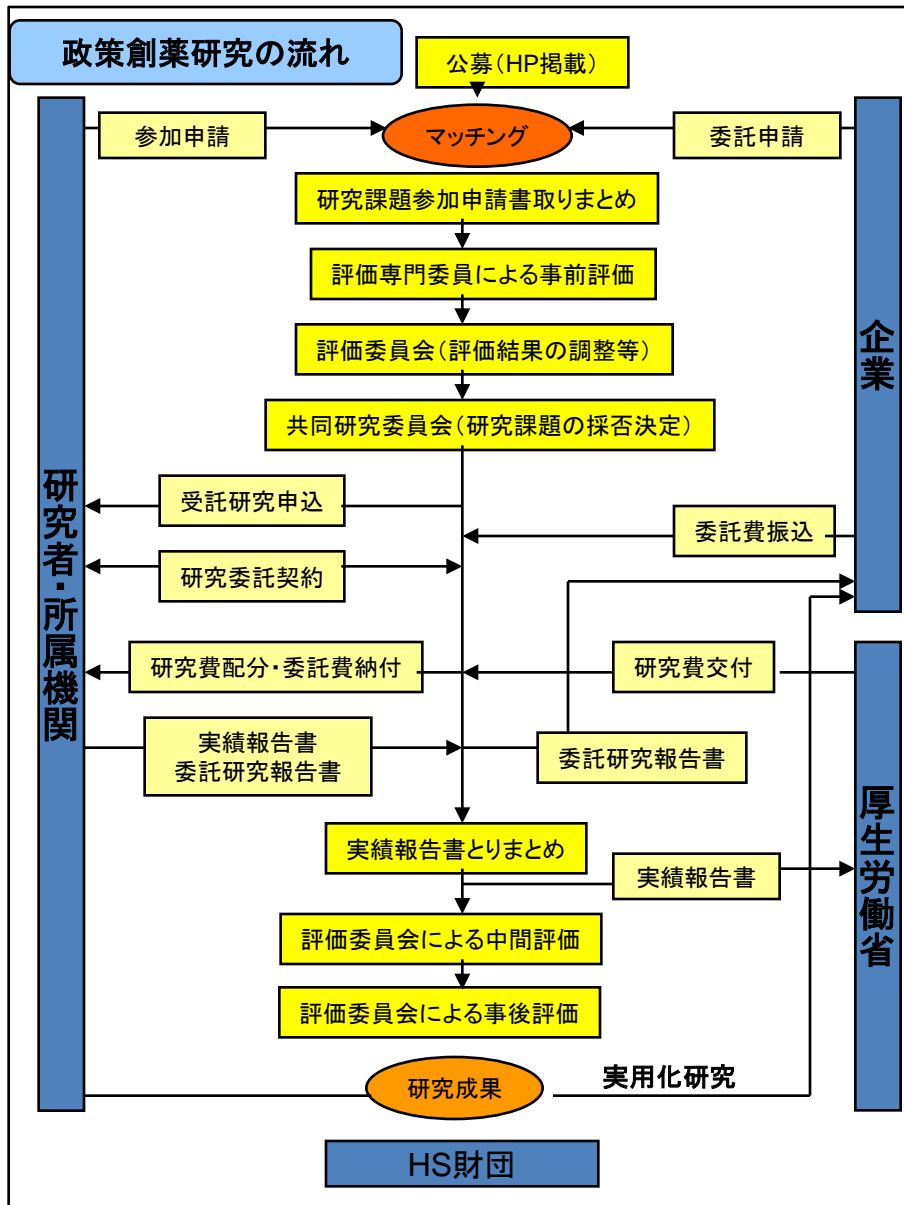
研究成果等普及啓発事業:研究への国民の理解の増進に資するセミナーを開催(創薬:5件)

細胞・組織研究の基盤整備:細胞35種類、遺伝子615種類、ヒト組織11試料を分譲可能とした

等
4

研究助成の概要③

《業務内容／実施体制・評価体制》



厚生労働大臣認定TLO事業の概要①

事業の概要

(特別研究推進事業補助金)

国立試験研究機関等の発明を実用化に結びつけるために、特許等の権利の譲渡を受け、財団が民間企業による実用化のため、実施許諾業務等を実施。

事業の必要性

- 国立研究機関等で発明された技術は、実用化まで繋げなければ国民に還元されない○国立研究機関等には知財の専門家がないことから、知財戦略や許諾交渉の実施を担う機能が必要
- 国立研究機関の職務発明を特定の企業等に偏ることなく適正に橋渡しするためには、公平性が要求されるため、公的な法人が担うべき(経産省、総務省、農水省も同様の枠組み)。

財団が行う理由

- 認定TLOとしての公正性を担保する組織(認定要件:TLO法第12条1項第1号から第3号)
- 医薬品特有の特許戦略に熟知した製薬企業ライセンス・特許業務専門家(弁理士を含む)による業務を実施
- 医薬品開発ベンチャー、海外企業へのライセンスも含めた事業展開が可能

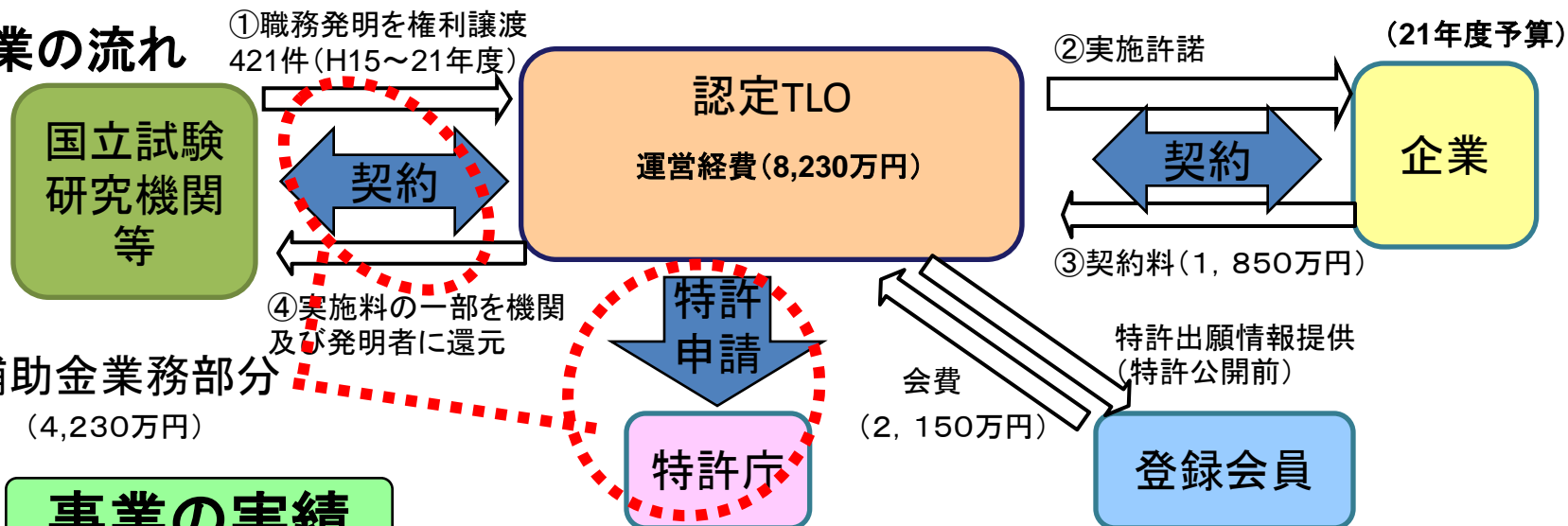
参考)大学等における技術に関する研究成果の民間事業者への移転の促進に関する法律(TLO法)(抜粋)

第十二条 国の試験研究機関であつて政令で定めるもの(以下「特定試験研究機関」という。)における技術に関する研究成果について、当該研究成果に係る国有の特許権若しくは特許を受ける権利又は国有の実用新案権若しくは実用新案登録を受ける権利の譲渡を受け、当該特許権若しくは当該特許を受ける権利に基づいて取得した特許権又は当該実用新案権若しくは当該実用新案登録を受ける権利に基づいて取得した実用新案権についての譲渡、専用実施権の設定その他の行為により、当該研究成果の活用を行おうとする民間事業者に対し移転する事業を行う者は、当該特定試験研究機関を所管する大臣に申請して、その事業が次の各号のいずれにも適合している旨の認定を受けることができる。

- 一 当該事業を適確かつ円滑に実施することができる技術的能力を有するものであること。
- 二 当該特許権若しくは当該特許を受ける権利に係る発明又は当該実用新案権若しくは当該実用新案登録を受ける権利に係る考案を自ら実施するものでないこと。
- 三 当該特許権若しくは当該特許を受ける権利に係る発明又は当該実用新案権若しくは当該実用新案登録を受ける権利に係る考案に関する民間事業者への情報の提供において特定の民間事業者に対して不当な差別的取扱いをするものでないことその他当該事業を適正に行うに必要な業務の実施の方法が定められているものであること。

厚生労働大臣認定TLO事業の概要②

事業の流れ



事業の実績

	平成21年度	累計(平成15~21年度)
国内出願	65件	421件
PCT出願	9件	84件
海外出願	16件	45件
権利化された特許・実用 新案・意匠件数※1	国内5件 海外3件	国内21件 海外4件
実施許諾件数	10件	30件※2

※1 特許は審査請求まで3年、審査結果が出て権利化まで5~6年を要する。

※2 C型肝炎の治療効果予測マーカー、膵癌のマーカー、消化管間質腫瘍(GIST)マーカー、再生医療に用いる培地・培養方法など

研究資源供給事業の概要①

事業の概要

<財団独自事業>

研究者より受け入れた研究資源(細胞、遺伝子等)を産官学の研究者に実費を勘案した手数料負担の上で分譲するとともに、関連情報を収集し、提供
厚生科学審議会答申(98年)臨床研究倫理指針に従い、手術で摘出したヒト組織(癌等)を提供

事業の必要性

- ①疾患関連・ヒト由来細胞を多数保有し、国内外の同様な施設にない細胞を提供
→保有資源1015種中、国内同種施設である理研バイオリソースセンターと重複する細胞は5%
- ②海外への分譲実績は15%と大学等研究機関(60%)に次ぎ、国際貢献に寄与
- ③当施設が分譲した研究資源を用いた研究論文が年間約70報報告され、評価が定着

財団が実施する理由

- ①日本人由来の手術で摘出したヒト組織を提供する施設は国内当施設のみ
→厚生科学審議会答申、臨床研究指針に適合した試料を提供
企業だけでなく、医療機関を有する研究機関からも提供の申し込み
- ②ファルマスニップコンソーシアムが収集した健常人血液由来B細胞株を提供(疾患ゲノムの研究には対照群である健常人のデータが必要)
- ③95年国立医薬品食品衛生研究所(05年業務が基盤研に移行)の研究者への分譲業務を承継

事業の実績

	細胞(アンプル)	遺伝子(クローン)	日本人B細胞株(アンプル)	ヒト組織(件)	動物胚(件)
平成19年度	3543	40	5602	32	1
平成20年度	3396	38	1814	64	0
平成21年度	3238	26	2378	96	2

21年度:細胞の分譲先(機関数)

大学・国公立研究機関	1115(61.1%)
財団会員企業	170(9.2%)
財団非会員企業	254(13.9%)
海外	289(15.8%)

研究資源供給事業の概要②

医薬基盤研究所及びその他の機関とHS財団のバンク事業における連携について

バンク事業(現状)

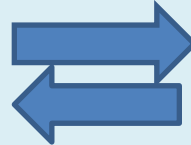
医薬基盤研究所

細胞株・遺伝子の
収集・保存・開発・資源化

その他の機関

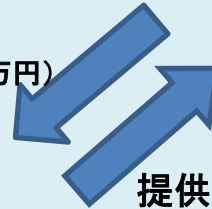
B細胞株・ヒト組織・動物胚
の収集

・種となる細胞・遺伝子の提供
・病原体の検査など



技術支援料
(約1,000万円)

手数料
(約230万円)



提供

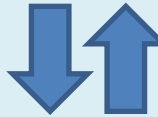
HS財団

・細胞株の培養(増殖)・分譲
遺伝子の分譲
・B細胞株、ヒト組織、動物胚
の分譲

運営経費 (約9,000万円)

実費分譲
(年間約5,300件)

約10,300万円(実費)



研究者

資源の由来

(独) 医薬基盤研究所

ファルマ・スニップ・コンソーシアム

バイオ産業情報化コンソーシアム

医療機関・大学

研究機関・大学・企業

HS振興財団

細胞

遺伝子

日本人由来B細胞・DNA

ヒト組織

動物胚

H21年度 政策創薬総合研究事業 採択課題一覧表

単位:円

	研究課題名	研究者	所属	決定額	委託企業名
1	先端技術を応用した製剤の品質確保と評価に関する研究	川西 徹 四方田 千佳子 伊豆津 健一 米谷 芳枝 松村 保広 中川 晋作 北村 智 馬場 一彦 山内 仁史 中川 知秀 阿曾 幸男 宮崎 玉樹 山本 恵司 村主 教行 北村 智 中上 博秋 小川 裕 池田 幸弘 檜山 行雄 寺田 勝英 小出 達夫 坂本 知昭 山田 清孝 高嶋 武志 木村 章男 片岡 隆博 小澤 昭夫 渡辺 恵市郎 土屋 享	国立医薬品食品衛生研究所 国立医薬品食品衛生研究所 国立医薬品食品衛生研究所 星薬科大学 国立がんセンター 国立大学法人大阪大学 アステラス製薬株式会社 大鵬薬品工業株式会社 ニプロパッチ株式会社 富山産業株式会社 国立医薬品食品衛生研究所 国立医薬品食品衛生研究所 国立大学法人千葉大学 塩野義製薬株式会社 アステラス製薬株式会社 第一三共株式会社 中外製薬株式会社 武田薬品工業株式会社 国立医薬品食品衛生研究所 東邦大学 国立医薬品食品衛生研究所 国立医薬品食品衛生研究所 ファイザー株式会社 株式会社パウレック 参天製薬株式会社 塩野義製薬株式会社 武田薬品工業株式会社 日揮株式会社 田辺三菱製薬株式会社	40,500,000 うち補助金額 23,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 17,500,000	アステラス製薬株式会社 ニプロパッチ株式会社 ファイザー株式会社 塩野義製薬株式会社 株式会社パウレック 参天製薬株式会社 大鵬薬品工業株式会社 第一三共株式会社 中外製薬株式会社 田辺三菱製薬株式会社 日揮株式会社 富山産業株式会社 武田薬品工業株式会社
2	西洋ハーブ及び新一般用漢方処方構成生薬の品質確保と評価に関する研究	合田 幸広 近藤 健児 中川 誠 田頭 素行 山本 豊 藤田 正雄 西村 直行 水上 元 小松 かつ子 袴塚 高志 廣田 浩之 望月 直樹 稲木 敏男 木村 博明 小林 正治郎 日向野 太郎 森田 英利	国立医薬品食品衛生研究所 株式会社ツムラ 三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 アサヒビール株式会社 株式会社栃本天海堂 株式会社ウチダ和漢薬 株式会社島津製作所 名古屋市立大学 国立大学法人富山大学 国立医薬品食品衛生研究所 エスエス製薬株式会社 アサヒビール株式会社 興和株式会社 佐藤製薬株式会社 ゼリア新薬工業株式会社 大正製薬株式会社 麻布大学	34,039,000 うち補助金額 19,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 15,039,000	アサヒビール株式会社 エスエス製薬株式会社 ゼリア新薬工業株式会社 株式会社ウチダ和漢薬 株式会社ツムラ 株式会社島津製作所 株式会社栃本天海堂 興和株式会社 佐藤製薬株式会社 三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 大正製薬株式会社

H21年度 政策創薬総合研究事業 採択課題一覧表

単位:円

	研究課題名	研究者	所属	決定額	委託企業名
3	規格化された高品質な成育バイオリソースと異種由来成分を排除した完全ヒト型培養システムの構築—再生医療・細胞治療の有効性、安全性の検証システムの標準化—	梅澤 明弘 三好 俊一郎 宮本 薫 仁科 博道 鈴木 康二 井上 剛臣 櫻井 裕士 森口 佳之 藤沢 章 田村 知明 松崎 正晴 山中 克之	国立成育医療センター 慶應義塾大学 国立大学法人福井大学 株式会社ツーセル 株式会社ジェイ・エム・エス アルブラスト株式会社 株式会社カネカ 中外製薬株式会社 セルテスコメディカルエンジニアリング株式会社 オリンパス株式会社 株式会社ミラキュア 株式会社ジーシー	39,000,000 うち補助金額 24,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 15,000,000	株式会社カネカ 株式会社ミラキュア 株式会社ツーセル 株式会社ジェイ・エム・エス アルブラスト株式会社 中外製薬株式会社 セルテスコメディカルエンジニアリング株式会社 オリンパス株式会社 株式会社ジーシー
4	バイオ医薬品の特性解析及び品質・安全性評価法の開発	山口 照英 川崎 ナナ 荒戸 照世 柳原 繁弘 古賀 明子 成瀬 毅志 中島 和幸 北村 智 濱詰 康樹 窪田 雅之 小紫 嘉一 柚木 幹弘 内田 恵理子 長束 俊治 掛樋 一晃	国立医薬品食品衛生研究所 国立医薬品食品衛生研究所 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 協和発酵キリン株式会社 中外製薬株式会社 財団法人化学及血清療法研究所 財団法人化学及血清療法研究所 アステラス製薬株式会社 大日本住友製薬株式会社 サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社 日本ケミカルリサーチ株式会社 株式会社ベネシス 国立医薬品食品衛生研究所 国立大学法人新潟大学 近畿大学	35,500,000 うち補助金額 19,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 16,500,000	アステラス製薬株式会社 サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社 株式会社ベネシス 協和発酵キリン株式会社 財団法人化学及血清療法研究所 大日本住友製薬株式会社 中外製薬株式会社 日本ケミカルリサーチ株式会社
5	代替毒性試験法の評価と開発に関する研究	能美 健彦 小田 美光 藤居 互 平田 大介 須井 哉 本間 正充 伊東 悟 岡 宏昭 三島 雅之 西川 秋佳 林 宏行 真田 尚和	国立医薬品食品衛生研究所 近畿大学 サントリービジネスエキスパート株式会社 株式会社蛋白精製工業 財団法人食品薬品安全センター 国立医薬品食品衛生研究所 第一三共株式会社 大鵬薬品工業株式会社 中外製薬株式会社 国立医薬品食品衛生研究所 明治製菓株式会社 科研製薬株式会社	21,700,000 うち補助金額 13,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 8,700,000	サントリービジネスエキスパート株式会社 科研製薬株式会社 株式会社蛋白精製工業 大鵬薬品工業株式会社 第一三共株式会社 中外製薬株式会社 明治製菓株式会社
6	医薬品の安全性監視と安全性監視計画立案のための医薬品安全性情報の解析、評価に関する研究	森川 馨 中山 健夫 高見 廣行 松本 法幸 宇田 恒信 関 利之 西畑 利明 吉川 剛兆 天沼 喜美子	国立医薬品食品衛生研究所 国立大学法人京都大学 あすか製薬株式会社 アステラス製薬株式会社 エーザイ株式会社 協和発酵キリン株式会社 参天製薬株式会社 塩野義製薬株式会社 国立医薬品食品衛生研究所	16,500,000 うち補助金額 10,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 6,000,000	塩野義製薬株式会社 参天製薬株式会社 あすか製薬株式会社 アステラス製薬株式会社 エーザイ株式会社 協和発酵キリン株式会社

H21年度 政策創薬総合研究事業 採択課題一覧表

単位:円

	研究課題名	研究者	所属	決定額	委託企業名
7	ファーマコゲノミクス情報に基づいた医薬品の有効性及び安全性評価系の開発と医薬品開発への応用	黒瀬 光一 齋藤 嘉朗 東 純一 埴岡 伸光 平塚 一幸 伊藤 継孝 森 篤雄 丹羽 卓朗 奥川 学 佐井 君江 佐藤 正宏	国立医薬品食品衛生研究所 国立医薬品食品衛生研究所 兵庫医療大学 国立大学法人岡山大学 明治製菓株式会社 薬効ゲノム情報株式会社 積水メディカル株式会社 田辺三菱製薬株式会社 関西医科大学 国立医薬品食品衛生研究所 国立大学法人鹿児島大学	32,500,000 うち補助金額 21,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 11,500,000	明治製菓株式会社 薬効ゲノム情報株式会社 田辺三菱製薬株式会社 積水メディカル株式会社
8	人由来組織利用研究円滑化のための社会的・技術的インターフェースの整備	絵野沢 伸 青木 達哉 大塚 英典 落谷 孝広 熊井 俊夫 鈴木 聡 大和田 哲男 山田 泰弘 池谷 武志 城村 友子 櫻川 宣男	国立成育医療センター 東京医科大学 東京理科大学 国立がんセンター 聖マリアンナ医科大学 認定NPO法人HAB研究機構 株式会社アビー 田辺三菱製薬株式会社 東洋合成工業株式会社 株式会社トランスパレント 株式会社生物資源応用研究所	12,000,000 うち補助金額 7,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 4,500,000	田辺三菱製薬株式会社 東洋合成工業株式会社 株式会社トランスパレント 株式会社アビー
9	免疫調整作用に基づく医薬品探索とその安全性評価技術の開発	手島 玲子 田頭 素行 稲熊 隆博 三島 敏 稚山 浩 近藤 一成 戸井田 敏彦 戸塚 護 中西 守	国立医薬品食品衛生研究所 アサヒビール株式会社 カゴメ株式会社 アピ株式会社 国立医薬品食品衛生研究所 国立医薬品食品衛生研究所 国立大学法人千葉大学 国立大学法人東京大学 愛知学院大学	13,000,000 うち補助金額 8,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 5,000,000	アピ株式会社 アサヒビール株式会社 カゴメ株式会社
10	転写制御因子ネットワークによる次世代の動脈硬化予防治療薬開発に関する基礎的研究	最上 知子 佐藤 陽治 田辺 宗平 前島 崇司 千葉 健治 坂井 薫 島田 浩志 川端 佳奈美 青塚 知士 横山 信治 板部 洋之 宇根 瑞穂 影近 弘之	国立医薬品食品衛生研究所 国立医薬品食品衛生研究所 興和株式会社 興和株式会社 田辺三菱製薬株式会社 田辺三菱製薬株式会社 田辺三菱製薬株式会社 田辺三菱製薬株式会社 あすか製薬株式会社 名古屋市立大学 昭和大学 広島国際大学 国立大学法人東京医科歯科大学	27,000,000 うち補助金額 16,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 11,000,000	田辺三菱製薬株式会社 興和株式会社 あすか製薬株式会社
11	多様な生理活性を持つ機能性成分の安定化による新たな難治性慢性疾患の予防および治療法の構築	矢野 友啓 岡田 忠司 栗下 昭弘 寺尾 啓二 野村 大成 宮崎 純一 小野 哲也 大島 寛史 池田 彩子	独立行政法人国立健康・栄養研究所 オリザ油化株式会社 日本アムウェイ合同会社 株式会社シクロケム 独立行政法人医薬基盤研究所 国立大学法人大阪大学 国立大学法人東北大学 静岡県立大学 名古屋学芸大学	17,000,000 うち補助金額 11,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 6,000,000	日本アムウェイ合同会社 株式会社シクロケム オリザ油化株式会社

H21年度 政策創薬総合研究事業 採択課題一覧表

単位:円

	研究課題名	研究者	所属	決定額	委託企業名
12	医薬品開発の効率化を指向したヒトCYP分子種発現細胞系を用いる新規ヒト肝薬物代謝評価系の確立	中澤 憲一 大野 泰雄 山添 康 幅野 涉 安達 弥永 山口 嘉隆 山田 泰弘	国立医薬品食品衛生研究所 国立医薬品食品衛生研究所 国立大学法人東北大学 岩手医科大学 積水メディカル株式会社 塩野義製薬株式会社 田辺三菱製薬株式会社	15,473,000 うち補助金額 9,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 6,473,000	積水メディカル株式会社 田辺三菱製薬株式会社 塩野義製薬株式会社
13	変異蛋白が誘導するストレスを原因とする神経(精神)筋疾患に対する治療候補化合物の開発に関する研究	桃井 隆 上田 正次 日比野 利彦 桃井 真里子	国立精神・神経センター 株式会社フェニックスバイオ 株式会社資生堂 自治医科大学	12,500,000 うち補助金額 7,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 5,000,000	株式会社資生堂 株式会社フェニックスバイオ
14	創薬への応用を目標としたB細胞の分化・増殖・細胞死の制御機構解明に関する研究	清河 信敬 上出 利光 宮崎 忠昭 藤原 優 前田 雅弘	国立成育医療センター 国立大学法人北海道大学 国立大学法人北海道大学 株式会社札幌イムノ・ダイアグノスティック・ラボラトリー 株式会社免疫生物研究所	36,000,000 うち補助金額 23,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 13,000,000	株式会社札幌イムノ・ダイアグノスティック・ラボラトリー 株式会社免疫生物研究所
15	小児成長疾患に対するトランスレーショナルリサーチにおける技術的基盤の創成	宮戸 健二 牧野 雄一 富田 正浩 杉田 一憲	国立成育医療センター 国立大学法人旭川医科大学 株式会社ネオシルク 株式会社ラボ	24,750,000 うち補助金額 16,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 8,250,000	株式会社ラボ 株式会社ネオシルク
16	ボツリヌス神経毒素による中枢情報伝達制御薬の開発-てんかんと難治性疼痛の克服に向けて	銀永 明弘 梶 龍兒 小崎 俊司 加藤 啓子 坂本 崇	財団法人化学及血清療法研究所 国立大学法人徳島大学 大阪府立大学 大阪府立大学 国立精神・神経センター	13,000,000 うち補助金額 8,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 5,000,000	財団法人化学及血清療法研究所
17	グリア細胞をターゲットとした創薬のための評価科学基盤の確立	佐藤 薫 井上 和秀 鳥光 慶一 加藤 総夫 南 雅文 小泉 修一	国立医薬品食品衛生研究所 国立大学法人九州大学 NTT物性科学基礎研究所 東京慈恵会医科大学 国立大学法人北海道大学 国立大学法人山梨大学	14,500,000 うち補助金額 8,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 6,500,000	NTT物性科学基礎研究所
18	抗フリーラジカル剤開発に向けた病態解析と科学的評価法の確立	綱脇 祥子 塩田 清二 松永 政司	国立成育医療センター 昭和大学 日生バイオ株式会社	23,000,000 うち補助金額 13,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 10,000,000	日生バイオ株式会社
19	ノロウイルスおよびサポウイルス増殖阻害剤の評価システムの構築	片山 和彦 岡 智一郎 横山 勝 本村 和嗣 小澤 一弘	国立感染症研究所 国立感染症研究所 国立感染症研究所 国立感染症研究所 株式会社中部衛生検査センター	11,500,000 うち補助金額 7,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 4,500,000	株式会社中部衛生検査センター
20	ワクチン創生の新テクノロジーによる新規ワクチンの開発	小島 朝人 高橋 秀宗 田中 道子 東 雍 小西 英二	国立感染症研究所 国立感染症研究所 国立感染症研究所 財団法人阪大微生物病研究会 国立大学法人神戸大学	15,700,000 うち補助金額 9,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 6,200,000	財団法人阪大微生物病研究会

H21年度 政策創薬総合研究事業 採択課題一覧表

単位:円

	研究課題名	研究者	所属	決定額	委託企業名
21	ライソゾーム病の酵素製剤の適正使用法の確立と遺伝子・細胞治療法の開発	奥山 虎之 藤井 教尚	国立成育医療センター ジェンザイム・ジャパン株式会社	20,000,000 うち補助金額 10,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 10,000,000	ジェンザイム・ジャパン株式会社
22	冠・脳血管攣縮の抑制薬としてのS1P3受容体拮抗薬の開発	望月 直樹 福原 茂朋 澤 洋文 村上 晶	国立循環器病センター 国立循環器病センター 国立大学法人北海道大学 トーアエイヨー株式会社	19,000,000 うち補助金額 12,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 6,500,000	トーアエイヨー株式会社
23	自己免疫疾患に対する蛋白性医薬品の創出戦略とその応用に関する研究	堤 康央 角田 慎一 阿部 康弘 谷合 まどか 有安 利夫	独立行政法人医薬基盤研究所 独立行政法人医薬基盤研究所 独立行政法人医薬基盤研究所 株式会社林原生物化学研究所 株式会社林原生物化学研究所	50,000,000 うち補助金額 25,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 25,000,000	株式会社林原生物化学研究所
24	感染性C型肝炎ウイルス株および感受性培養細胞ライブラリーの構築	脇田 隆字 望月 英典 土方 誠 伊藤 敬義 坂本 直哉	国立感染症研究所 東レ株式会社 国立大学法人京都大学 昭和大学 国立大学法人東京医科歯科大学	23,449,000 うち補助金額 14,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 8,949,000	東レ株式会社
25	脱細胞化組織を用いた再生医療用生物由来素材の開発と各種組織移植への展開	藤里 俊哉 岸田 晶夫 山岡 哲二 小林 尚俊 白数 昭雄	ニプロ株式会社 国立大学法人東京医科歯科大学 国立循環器病センター 独立行政法人物質・材料研究機構 ニプロ株式会社	12,000,000 うち補助金額 7,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 5,000,000	ニプロ株式会社
26	細菌性ベクター及び粘膜アジュバントを用いた新興・再興感染症に対する新規予防・治療法の開発	前山 順一 山本 三郎 小林 和夫 網 康至 大原 直也 瀧井 猛将 伊保 澄子 藤原 永年 井坂 雅徳 矢野 郁也 松尾 和浩	国立感染症研究所 日本ビーシージー製造株式会社 国立感染症研究所 国立感染症研究所 国立感染症研究所 国立大学法人岡山大学 名古屋市立大学 国立大学法人福井大学 大阪市立大学 名古屋市立大学 日本ビーシージー製造株式会社 日本ビーシージー製造株式会社	22,450,000 うち補助金額 13,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 8,950,000	日本ビーシージー製造株式会社
27	クロイツ・フェルト・ヤコブ病(CJD)特異的な、簡便かつ迅速髄液検査法の開発	飛梅 実 佐多 徹太郎 高橋 秀宗 大場 雄介 森岡 弘志 伊藤 禎司	国立感染症研究所 国立感染症研究所 国立感染症研究所 国立大学法人北海道大学 国立大学法人熊本大学 株式会社岸本医科学研究所	12,950,000 うち補助金額 8,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 4,450,000	株式会社岸本医科学研究所
28	帯状疱疹ワクチン開発のための疫学研究	山西 弘一 磯 博康 森 康子 浅田 秀夫 奥野 良信	独立行政法人医薬基盤研究所 国立大学法人大阪大学 独立行政法人医薬基盤研究所 奈良県立医科大学 財団法人阪大微生物病研究会	44,000,000 うち補助金額 24,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 20,000,000	財団法人阪大微生物病研究会

H21年度 政策創薬総合研究事業 採択課題一覧表

単位:円

	研究課題名	研究者	所属	決定額	委託企業名
29	内因性幹細胞の動員・生着・分化と心筋細胞肥大の情報伝達を標的とした新規心不全治療法	長谷川 浩二 福田 宏之 川村 晃久 池田 義 掛谷 秀昭 森本 達也	独立行政法人国立病院機構京都医療センター 株式会社セラバリュース 国立大学法人京都大学 国立大学法人京都大学 国立大学法人京都大学 静岡県立大学	29,000,000 うち補助金額 17,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 12,000,000	株式会社セラバリュース
30	経口脂肪酸摂取によるアルツハイマー病の発症予防法開発に関する研究	道川 誠 河島 洋 紺谷 昌仙 赤津 裕康	国立長寿医療センター サントリーウエルネス株式会社 サントリーウエルネス株式会社 福祉村病院	20,000,000 うち補助金額 10,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 10,000,000	サントリーウエルネス株式会社
31	高分化型三次元細胞培養系を用いたヒト血漿蛋白及びウイルス粒子の大量産生法の開発	相崎 英樹 大川 清 松浦 知和 高田 耕司 加藤 尚志 石塚 保行	国立感染症研究所 東京慈恵会医科大学 東京慈恵会医科大学 東京慈恵会医科大学 早稲田大学 株式会社エーシーバイオテクノロジーズ	10,000,000 うち補助金額 7,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 3,000,000	株式会社エーシーバイオテクノロジーズ
32	自己免疫疾患、アレルギー疾患の治療を目標としたヘルパーT細胞の分化に関わる因子の探索	浅原 弘嗣 高田 修治 伊藤 義晃 吉村 昭彦 鈴木 忍 佐藤 弥生 尾崎 修子	国立成育医療センター 国立成育医療センター 国立成育医療センター 慶應義塾大学 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	13,500,000 うち補助金額 8,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 5,000,000	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
33	細胞培養弱毒生痘そうワクチンの安全性、有効性及び生産性に関する研究	大隈 邦夫 倉根 一郎 永田 典代 森川 茂 西條 政幸 藤井 達也 齋藤 智也 横手 公幸	財団法人化学及血清療法研究所 国立感染症研究所 国立感染症研究所 国立感染症研究所 国立感染症研究所 自衛隊中央病院 慶應義塾大学 財団法人化学及血清療法研究所	23,000,000 うち補助金額 15,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 8,000,000	財団法人化学及血清療法研究所
34	ヒト胚性幹細胞(ES細胞)に由来する血管内皮細胞の安定大量供給のための方法論の確立-基礎研究および薬効評価・毒性試験のためのヒト材料提供を目的として-	佐伯 久美子 近藤 靖 千葉 滋	国立国際医療センター 田辺三菱製薬株式会社 国立大学法人筑波大学	14,500,000 うち補助金額 9,500,000 民間資金 (企業からの委託費) 5,000,000	田辺三菱製薬株式会社
35	ヒト脂肪由来幹細胞を用いた医薬品開発研究	田上 昭人 田畑 泰彦 中山 洋一	国立成育医療センター 国立大学法人京都大学 株式会社アーティセル・システムズ	8,500,000 うち補助金額 5,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 3,500,000	株式会社アーティセル・システムズ
36	エイズに付随する日和見原虫感染症に対する新規薬剤の実用化	野崎 智義 中野 由美子 山本 雅一 北 潔	国立感染症研究所 国立感染症研究所 アリジェン製薬株式会社 国立大学法人東京大学	19,200,000 うち補助金額 13,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 6,200,000	アリジェン製薬株式会社
37	エイズの粘膜ワクチンの創製と評価系の基盤構築	三隅 将吾 仲宗根 正 庄司 省三 高宗 暢暁 高橋 義博	国立大学法人熊本大学 国立感染症研究所 国立大学法人熊本大学 国立大学法人熊本大学 株式会社新日本科学	14,000,000 うち補助金額 9,000,000 民間資金 (企業からの委託費) 5,000,000	株式会社新日本科学

2大特徴

- ボトムアップ型ニーズの拾い上げ
- マッチング環境の整備

HS財団の効率的なマッチングの仕組み

政策創薬総合研究事業

2大特徴

- 研究者が研究に専念できるように事務手続きをHSが一元的に実施（事務の効率化）

ニーズ調査段階

企業ニーズと研究シーズのマッチング段階

資金マッチング段階

研究採択・事業運営段階

財団独自の枠組み → 研究者・企業の負担の軽減

(企業ニーズの把握)

企業からの要請

ニーズの高い研究についての勉強会・ヒアリング等(年間約200回)を開催

研究費の調整

(総額-民間負担=国費)

(国民ニーズの拾い上げ)

事務局による創薬基盤研究の調査

企業と研究者の交流

企業・研究者
次年度研究事業への共同申請準備

政策創薬総合研究事業

公募

外部評価委員会

評価

採択

- 評価点の高い順に採択
- 国費予算額まで採択

応募

研究資金のとりまとめ
研究契約の取りまとめ
研究費分担額の調整

官民共同研究の実施

研究者と企業の自力マッチングではなく、現場のニーズに基づく、広範な企業・研究者マッチングが可能

研究者・企業の事務的作業軽減により、研究者が研究に専念できる枠組み

政策創薬総合研究事業の主な成果例

○製品化に向けた成果例

内 容: 幹細胞等を用いた細胞組織医療機器の開発と評価技術の標準化

研究者: 土屋利江(国立医薬品食品衛生研究所H16～18年度)

状 況: 「神経細胞への分化に係る培地及び培養方法」として特許出願、ベンチャー企業に実施許諾、現在、培養キットの製品化を検討中。

H16年度: 3640万円(うち企業分 940万円(9社、5大学))

H17年度: 4486万円(うち企業分 940万円(8社、5大学))

H18年度: 5000万円(うち企業分 940万円(8社、5大学))

○評価基準となった成功例

内 容: バイオ医薬品の特性解析・品質・安全性評価法の研究

研究者: 山口照英(国立医薬品食品衛生研究所19～21年度)

状 況: 日本薬局方※原案作成委員会で検討され、H21年9月にパブリックコメントを経て、「ペプチド及びたん白質の質量分析」として、H23年3月の第16改正日本薬局方の「参考情報」として掲載予定。

※日本薬局: 薬事法第41条に基づく医薬品の基準書。医薬品の規格試験は原則として日本薬局方に基づいて実施される。
 («参考情報」は日本薬局方本体ではなく、参考情報としての位置づけ)

H19年度: 4300万円(うち企業分1650万円(8社、2大学、PMDA))

H20年度: 4300万円(うち企業分1650万円(8社、2大学、PMDA))

H21年度: 3550万円(うち企業分1650万円(8社、2大学、PMDA))